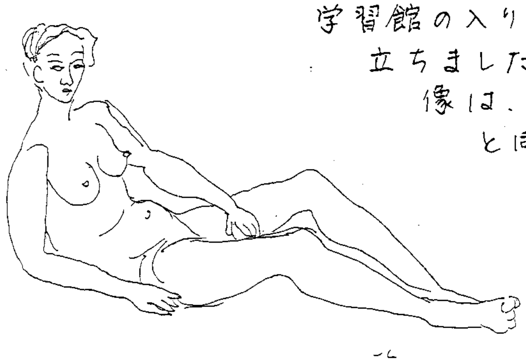
しろね図書館だより

No. 48

発行　白根市立図書館

平成16年5月1日



1974　海

学習館の入り口右側に新しいブロンズ像が立ちました。「海」という題をもったこの像は、学習館にある他の二体の像と同じく、白根市出身の彫刻家千野茂さんの作品で、夫人の千野雪子さんがブロンズ化して寄贈(きぞう)して下さいました。ありがとうございました。海を向いてこの像は立っています。

彫刻は目で見る鑑賞(かんしょう)もいいですが、ときには手で触(さわ)って鑑賞してみてはいかがでしょう。きっと〝母なる海〟に例えられるように、安らかな気持ちにさせてくれるはずです。

4月の

来館者(らいかんしゃ)……12,624人（視察45人含）

貸出冊数(かしだしさっすう)……13,893冊

予約件数(よやくけんすう)……158件

ブックバス利用者……276人

ブックバス貸出冊数……772冊

リクエスト情報（しばらくお待ち下さい）

1位・世界の中心で、愛をさけぶ（7名）

2位・13歳のハローワーク（6名）

　　蛇にピアス（6名）

4位・冬のソナタ 上・下（5名）

　　千と千尋の神隠し（5名）

6位・蹴りたい背中（4名）

　　誰か（4名）

他

おたよりください

おもしろかったほんのこと、すきなほんのことなどなんでもいいです。

○今までに寄せられたおたより（他にもたくさんあります）

「おもしろい本は『ナナさんのいい糸いろいろ』です。とくに、『夏』がおもしろいですよ」

「おもしろかった本は『ばばばあちゃん』です。みんなもよんでください」

子どもたちといっしょに

「くんちゃんのだいりょこう」（岩波書店）

ドロシー・マリノ 文／絵

石井 桃子 訳

くんちゃんは、みなみのくにへわたっていくとりをみて、じぶんもいきたいとおもいました。

「ぼくも みなみのくにへ いっていい？」くんちゃんは、ききました。

「とりたちは あたたかいところへ わたっていくのです。でも、くまはふゆは ねむるのです。」と、おかあさんはいいました。

でも、くんちゃんは みなみのくにへ でかけることにしました。さて…

子どもに出来る範囲で、思う存分何かをやらせてみることは必要でしょう。くんちゃんのお父さん、お母さんは、くんちゃんのだいりょこうの結果が、最初からわかっていました。二色しか使わない、この作者の画風が、物語とマッチして読む人の心を、あたたかくしてくれる一冊です。ご家族でおたのしみください。

第43回読書会

5月16日（日）1:30～3:30　ルーム2

「あらしのあと」ドラ・ド・ヨング 作（岩波書店）〈しろね図書館・しろね図書館友の会 共催〉

「あらしの前」の続篇です。どうぞご参加ください。

5月の行事　　ブックバス

1（土）	おはなし会 3:00～		16（日）	第43回読書会 1:30～	
5（水）	絵本のじかん 3:00～		19（水）	絵本のじかん 3:00～	新飯田小 12:35～13:20 茨曽根小 13:30～14:30
6（木）		白南中 12:55～13:35 庄瀬地C 14:00～14:40 庄瀬小 15:00～15:45	20（木）		白南中 12:55～13:35 庄瀬地C 14:00～14:40 庄瀬小 15:00～15:45
7（金）		臼井中 12:55～13:35 臼井小 14:00～15:15	21（金）		臼井中 12:55～13:35 臼井小 14:00～15:15
8（土）	おはなし会 3:00～	大通地C 14:30～15:00 根岸農公 15:30～16:00	22（土）	おはなし会 3:00～	大通地C 14:30～15:00 根岸農公 15:30～16:00
12（水）	絵本のじかん 3:00～	根岸小 13:10～13:50 大通小 14:00～15:30	26（水）	絵本のじかん 3:00～	根岸小 13:10～13:50 大通小 14:00～15:30
13（木）		白根北中 13:00～14:00 大鷲小 14:30～15:45	27（木）		白根北中 13:00～14:00 大鷲小 14:30～15:45
14（金）		白根小 13:00～13:50 小林小 14:30～15:30	28（金）		白根小 13:00～13:50 小林小 14:30～15:30
15（土）	おはなし会 3:00～	新飯田農公 14:30～15:00 戸石公 15:30～16:00	29（土）	おはなし会 3:00～ ゲスト：生涯学習課長	新飯田農公 14:30～15:00 戸石公 15:30～16:00

第四十二回 読書会

平成十六年四月十一日（日）
午後一時半〜三時三十分 参加者六名

『あらしの前』
ドラ・ド・ヨング 作
吉野源三郎 訳 岩波書店

今回の読書会は、一九一一年、オランダのアルネムで生まれた女流作家ドラ・ド・ヨングの書いた作品で、日本訳では「あらしの前」という題名で紹介されています。

このお話の内容とは以下のとおりです
オランダの地方都市アルネム近郊の村はずれの「レヴェル・ランド」と呼ばれているそれは昔風で住み心地のよいお屋敷に住む開業医のお父さんと、主婦のかたわらお父さんを助け薬局の仕事もする働きものの母さんと、アムステルダムの社会事業学校で学んでいる長女ミープと、弟や妹の五人の子供たちオルト家一人一人の楽しい家庭での出来事が第一章から第十二章までしめられています。大きな家族の中の愛や理解や調和や幸福を紹介し、世界は一つの大きな家族であり、その家族の中の人たちが、おたがいに平和にやっていくのに、少し面倒なこともあるが、もしも私たちが、他人に対する親切な心というものが家庭にはじまるということを悟ったら、何百万という幸福な家族ができるでしょう。そして、そういう家族が、しまいには、いっしょになって幸福な世界をつくることができるということを訴えている。しかし、第十三章以降でドイツのナチスが国境を越えオランダに侵攻してきたことから、あのいやな戦争がこの一家をどのように変えていくかがえがかれています。

◇ 読書会に参加した皆さんの感想を聞いてみました

「ミープ、ヤン、ヤップ、ルト、ピム等の名前だけでは兄弟の名前が男の子なのか女の子なのかまた兄弟の上下が関係を確定するのが大変だった。」
「幸福な家庭の話から最終章でドイツ軍が侵攻してきたときは緊張した。」
「第一章から第十二章は一家の幸せな暮らしの紹介でたいくつな内容であったイースター、クリスマスの日本との風習の違いも感じた。」
「オランダは中立という立場をとっているのに、ドイツ軍が侵略してくるという戦争の悲惨さを感じた。」
イースター、クリスマスは宗教的要因があるから日本とは本質てきに違う。」
「あらしがいつ来るのか緊張しながら読んだ。」

これは過去の物語でありますが、現在でも、アメリカによるイラク戦争は、ブッシュ大統領の終結宣言は行われたが、毎日テロで死者がでているとの報道があり、日本の民間人の人質事件も発生している
この物語の悲惨さは現在でも生きつづけているのではないか。

さて、次回の読書会は、ドラ・ド・ヨングの連作「あらしのあと」を取り上げます

五月は「あらしのあと」
五月十六日（日）午後一時半〜三時半

本は、図書館カウターで貸し出ししています。どなたでも参加できます。ぜひおいでください。

（星島 等）

〜図書館員がおすすめするこの一冊〜

「クリスピン」　　アヴィ 作／金原瑞人 訳 （求龍堂）
ティーンズ 933ア

14世紀、イングランドの小さな村。荘園領主の支配下で一人の貧しい小作農をしていた女性が亡くなった。 名前のない息子の母親。
母の名前はアスタ。息子は＜アスタの息子＞と呼ばれていた。
森の中で、荘園の執事エイクリフと誰かの密談を目にしてしまう。
これが、運命を変えることになってしまった。この時、＜アスタの息子＞に気がついたエイクリフは迫ってくる。はっきりと殺意を感じた＜アスタの息子＞は逃げた。

なぜ、こんな目に遭わなければならないのか。

翌朝には泥棒の濡れ衣を着せられ、＜狼の首＞（人間ではなく誰が殺しても構わない）という恐ろしい名を宣告される。助けを求めた神父から、自分の名前が＜クリスピン＞である事を知らされる。

なぜ、母は、神父以外の誰にも息子にさえ秘密にしていたのか。

クリスピンは神父から手渡された母の形見の鉛の十字架を手に村を出た。
＜熊＞と名乗る男に出会い、彼の言葉によって色を染められていく。クリスピンはこれまで生きてきて、魂の存在を感じる事はなかった、自由もありはしなかった。
＜熊＞と旅していく中でも、執拗に執事エイクリフの追っ手に追われる ――。

じっとりと重たい冒頭からハラハラドキドキの冒険の終盤まであっという間。なぜ？と問いかけながら読み進めてしまう。きっとクリスピンの運命にまつわる謎を解き明かしたくなるはず。＜熊＞の言葉に、行動に、引き込まれていくはずです。 ぜひ、手に取ってみて下さい。

【司書】大野 恵子

＝ おしらせ ＝

6月13日（日）2：00〜4：00
ラスベックホール
おもしろ講座
「サメのおちんちんはふたつ」
すごくおもしろいです。
対象： 小学校高学年からおとなまで

子どもの本の講座
① 6月27日（日）日本
白根学習館 ルーム1、2
② 7月4日 （日）イギリス
白根学習館 ルーム1、2
③ 7月11日 （日）グリム
白根学習館 ルーム1、2

子どもゆめ基金助成事業
「やべみつのりさん講演会・
ワークショップ」
8月1日（日） ラスベックホール
午前：講演会
午後：ワークショップ（小学生以上）
すごくきれいな
「にじのたまご」を作ろう
8月1日〜6日
やべみつのりさん絵本原画展と作品展

戦争と平和を考えよう
朗読劇「1945年長崎」
8月29日（日）午後
ラスベックホール

文化講演会
「平和について」
講師・早乙女 勝元さん
10月3日（日）
2：00〜4：00
ラスベックホール